

製品名: SLBP ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02608**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 31 kDa; Observed MW: 31 kDa

抗原情報

遺伝子名	SLBP
別名	HBP
遺伝子 ID	7884
SwissProt ID	Q14493
免疫原	ヒト SLBP の合成ペプチド

背景

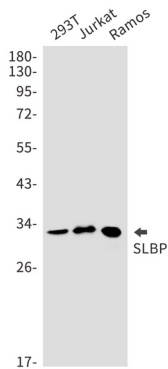
ヒストン pre-mRNA のプロセッシングに関与する RNA 結合タンパク質。複製依存性ヒストン pre-mRNA のステムループ構造に結合

し、ヒストン下流エレメント (HDE) を介してヒストン pre-mRNA と U7 低分子核リボ核タンパク質 (snRNP) との複合体を安定化することで、効率的な 3'末端プロセッシングに寄与する。成熟ヒストン mRNA を核から細胞質、そして翻訳機構へと誘導する上で重要な役割を果たす。成熟ヒストン mRNA を安定化させ、ヒストン遺伝子発現の細胞周期制御に関与している可能性がある。成長中の卵母細胞が初期胚発生を支えるヒストンタンパク質を蓄積するメカニズムに関与する。ヒストン pre-mRNA のステムループ構造の 5'末端に結合する。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



SLBP 抗体を使用した 293T、Jurkat、Ramos 溶解物中の SLBP のウェスタン ブロット分析。